

令和 7(2025)年度
事業計画書 収支予算書

西宮商工会議所

令和 7(2025)年度 事業計画書

目 次

I. 基本的な考え方

- 1. 社会経済情勢 2 頁
- 2. 本商工会議所の状況 3 頁
- 3. 令和 7(2025)年度の取り組み 4 頁
 - (1)企業力を強化する ～頑張る企業の挑戦を後押しする～
 - (2)地域力を強化する ～地域の魅力を磨き上げ未来につなげる～
 - (3)組織力を強化する ～持続可能な会議所運営を目指す～
 - (4)特定課題への対応

II. 主要施策、事業の概要

- 1. 企業力を強化する ～頑張る企業の挑戦を後押しする～ 7 頁
 - (1)中小・小規模事業者の支援
 - (2)にしのみや起業家支援センター(みやスタ)を核とした起業・創業の支援
 - (3)人手不足への対策・人材育成の支援
 - (4)販路開拓の支援
 - (5)デジタル化・DX の推進
- 2. 地域力を強化する ～地域の魅力を磨き上げ未来につなげる～ 9 頁
 - (1)地域資源のブランド化
 - (2)商店街・まちなか活性化の推進
 - (3)にしのみや地域経済交流センターを核とした地域活動の支援
 - (4)産官学連携の推進
 - (5)持続可能な社会の実現
- 3. 組織力を強化する ～持続可能な会議所運営を目指す～ 10 頁
 - (1)新規会員の獲得と定着
 - (2)組織財政基盤の強化
 - (3)会議所のデジタル化・DX 推進と情報発信の強化
 - (4)要望・提言活動の推進
 - (5)関連団体事務の受託
- 4. 特定課題への対応 11 頁
 - (1)西宮市市制施行 100 周年記念事業の実施
 - (2)2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)への参加
 - (3)デジタル化・DX 推進特別委員会の活動強化
 - (4)SDGs 推進特別委員会の活動強化
 - (5)西宮市ゼロカーボンシティ推進事業への協力

I. 基本的な考え方

1. 社会経済情勢

令和7年1月17日、阪神・淡路大震災から30年を迎えた。改めて犠牲になられた方々に心から哀悼の意を表するとともに、震災の経験を風化させることなく次代に引き継いでいくことが安全・安心ひいては持続可能なまちづくりに繋がると考える。

わが国の経済は、賃金上昇が物価上昇を上回り、個人消費が増加するとともに、企業の設備投資も堅調な動きが継続するなど、引き続き、民間需要主導の経済成長となることが期待されている。この好機にわが国がデフレマインドから完全に脱却し、持続的な「成長型経済」を実現する為には「潜在成長率の底上げ」が不可欠である。

この「潜在成長率の底上げ」の推進役は、雇用の7割(三大都市圏を除くと9割)を担う中小企業・小規模事業者(以下、「中小企業等」という。)である。中小企業等による設備投資の増加、労働力の確保、技術革新や省力化投資を通じた生産性向上を実現するためには、官民一体での取り組みが重要となる。

国にあっては、地方こそが成長の主役とする「地方創生2.0」を起動させるが、「若者や女性にも選ばれる地方づくり」を目標とする取り組みへの期待は極めて高く、特に基本構想の5本柱の一つである「付加価値創出型の新しい地方経済の創生」の実現に向けた具体的な施策が望まれる。

一方、日本商工会議所の「地域経済を牽引する中堅・中小企業における投資動向調査」によると、これらの中堅・中小企業は高い投資意欲があり、需要増や老朽化対策のみならず成長分野への投資、地方への投資も積極的であるが、受け皿となる産業用地等の事業インフラ不足が顕在化しているという結果が示された。

国・地方自治体・民間が三位一体となり、地域への人材・投資の呼び込みや「稼ぐ産業」の育成、インフラ整備などを通じて地域の経済循環を強化し、地域の強みと潜在力を引き上げるために全力を傾ける年としなくてはならない。

また日本商工会議所による「7年度賃金の意向調査」では、賃上げ実施予定企業は48.5%であり、このうち3%以上の引き上げは48.3%と半数に迫る割合となり、コスト増が継続する厳しい経営環境の中でも賃上げへの意欲は高い状況にある結果となった。このことを恒久化するため、国の「持続的な賃上げを実現するための生産性向上・省力化・成長投資支援」パッケージ、価格転嫁の商習慣化を目指す「パートナーシップ構築宣言」、価格交渉力強化を目指す「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の活用などの施策を総動員し、中小企業等の人手不足や賃上げ、価格転嫁を力強く支援する。

7年度は、わが国の経済活動をさらなる成長へと引っ張っていく非常に重要な1年となる。会議所は地域経済の再生・活性化の先導役として、地域・事業者・人の挑戦を全力で後押しし、持続的な成長と地域経済の好循環に向けて取り組みを進める。

2. 本商工会議所の状況

「ソフトがハードの価値を決める」との考えに立ち、建設から4年目を迎える商工会館の価値を高めるよう、過去3年間の事業・施策の実績を検証したうえで、会員サービスの一層の向上を図り、会員満足度の高い会議所運営に総力をあげて取り組んでいく。

7年度は、第29期(4年11月～7年10月)から第30期(7年11月～10年10月)へ引き継ぐ年となる。引き続き、会議所70周年以降受け継いできた「輝くひとづくり ものづくり ことづくり まちづくり」の一層の実現に向け、3つの基本方針である企業力・地域力・組織力の強化について、4つの常設委員会(総務企画、企業力強化、地域力強化、組織力強化)と2つの特別委員会(SDGs推進、デジタル化・DX推進)を連動させながら会議所の事業・施策を推進する。

会議所では、3期目となる経営発達支援計画(7年～11年)及び2期目となる事業継続力強化支援計画(7年～11年)をスタートさせる。これらの計画の主体となる小規模事業者のみならず中小企業等の多くは、地域の社会課題解決に向けたまちづくりや産業振興、安全・安心、環境保護、福祉・教育といった分野の課題解決に取り組む意欲を有している。社会の価値観の変化や、行政等のリソース不足のなかで、地域とのつながりが強い中小企業等に対する期待は今後更に高まると予測され、地域を支える重要な担い手であると再認識したうえで、西宮市等と緊密に連携しながら地域総がかりで中小企業等の支援に取り組む。

具体的には、国の伴走型小規模事業者支援事業予算、兵庫県商工会議所連合会や市の会議所向け予算を主な財源とし、伴走型による中小企業等支援、にしのみや起業家支援センターの着実な運営、地域産業のブランディングを最重点項目として事業推進を図る。市の会議所向け予算については、市と協議・調整した結果、より柔軟に運用できるよう組み替えたが、他方、市の財政構造改善計画や国から市への交付金が打ち切りとなったことで減額されており、より効率的・効果的な執行に努めなければならない。

また西宮市では、令和7年に市制施行100周年を迎えるにあたり、「文教住宅都市・西宮」という理念と価値を次の世代へつないでいくため、市民・事業者・団体等の発意による様々な「まちなかにぎわい事業」が実施される。会議所は、地域唯一の総合経済団体として市制施行100周年に祝意を表すとともに、この機会を最大限に活かし、地域経済の振興につながる西宮ならではの取り組みを進めるため、西宮市が実施する市制施行100周年記念事業に協力・参画する。

会議所では、人手不足への対応、人材育成による生産性向上、デジタル化・DXや省力化推進、SDGs推進、にしのみや地域経済交流センターを活用した地域団体への支援など、12の新規事業、2の拡充事業に取り組むとともに、会議所職員の人材育成、会議所組織と財政基盤の安定化に向けた運営に取り組む。

3. 令和 7(2025)年度の取り組み

(1)企業力を強化する ～頑張る企業の挑戦を後押しする～

深刻化する人手不足や物価高騰、省力化投資による生産性向上など中小企業等が抱える経営課題を真摯に受け止め、伴走型による経営支援、起業家の発掘・育成、人手不足への対応・人材育成、販路開拓、デジタル化・DX 推進を重点的課題として設定する。

中小企業等の支援については、基礎的な経営支援に加え、経営発達支援計画に基づく伴走支援に中小企業相談所が一丸となり取り組む。

国・県・市等の各種支援施策の活用を推進するため、所報やホームページ、SNS によるタイムリーな情報提供に加え、集合説明会や個別申請支援を実施し中小企業等が各種支援施策を確実に利用できるようきめ細かな支援に努める。

また、大企業と中小企業が共に成長できる持続可能な関係を構築する「パートナーシップ構築宣言」は、全国で 6 万社を超える事業者が登録するなど急速に浸透しており、価格転嫁・取引適正化の機運が高まっている。会議所も会員事業所に対し同宣言の趣旨や効果を積極的に情報発信し、中小企業等の持続可能な成長を後押しする。さらに、事業継続力強化支援計画に基づき緊急時に事業の継続・早期復旧を図る BCP(事業継続計画)策定に取り組む。

みやスタを核とした起業・創業の支援については、みやスタでは 6 年度に 100 名を超える起業家を輩出するなど市内起業家から多くの期待が集まっている。他方、令和 4 年の創設以来 3 年間にわたって国から市への交付金が打ち切りとなることから、限られた財源を有効に活用すべく選択と集中によりみやスタの支援メニューの見直しを図る。特に、地域課題解決型の起業家が増加しているため、地域課題解決事業推進に向けた基本指針(中小企業庁)を参考にしながら、支援策の検討を始める。

人手不足への対策・人材育成の支援については、新入社員研修をはじめ職務別や階層別、課題別の人材育成研修を計画的に実施する。また、講師派遣型のオーダーメイド研修の充実により中小企業等の生産性向上を人材育成面から支援するとともに、「(仮)人事塾」を開講し、中小企業等の人事全般を塾形式で学ぶ取り組みを新規に実施する。

販路開拓の支援については、東京インターナショナル・ギフトショー(日商 feel NIPPON)への共同出展を行い、全国展開しているバイヤーへ西宮らしい逸品を PR し数多くの商談成立を目指す。また 7 年度より市のホームページ制作補助事業事務を会議所が担うことから、柔軟な予算執行により効果的な販路開拓支援となるよう取り組む。

デジタル化・DX の推進については、「人材育成奨励制度」を活用した中小企業等のリスクリング支援や塾形式で DX を学ぶ「DX 経営塾」、IT ベンダーと連携した「デジタル化・IT 体験会」を実施し、中小企業等の支援に取り組む。

(2)地域力を強化する ～地域の魅力を磨き上げ未来につなげる～

西宮が誇る豊富な地域資源(自然環境、風土、歴史、文化等)を産業活動に活用するとともに、酒造業をはじめ、多くの飲食料品関連産業が集積する「食のまち」としての特色を活かし、日本酒をはじめ食分野における観光資源を「西宮ブランド」として育成・発信するなど地域産業の活性化を継続して支援する。

地域資源のブランド化については、西宮神社の西宮市百年奉祝行事に参画するほか、第29回西宮酒ぐらルネサンスと食フェアを西宮市100周年記念事業に相応しいイベントとして実施する。このほか、7年度より会議所が和菓子・洋菓子それぞれの実行委員会事務局を担うことから、双方の連携を強化した取り組みを進める。

商店街・まちなか活性化の推進については、事務受託している西宮市商店市場連盟との連携を深め、商店市場連盟が実施する各商店街の魅力発信を支援する。

にしのみや地域経済交流センターを核とした地域活動の支援については、6年度に策定した同センター活用計画に基づき、「にしのみや地域活動支援事業」を実施し地域団体等を支援する。マルシェや展示会等の実施による地域ブランド商品の販路開拓支援に加え、地域の文化芸術団体や子育て支援団体・グループなどこれまで会議所活動と関わりが薄かった団体などとの結びつきを強め、「地域とともにある」会議所の実現を目指す。

産官学連携の推進については、甲南大学との連携によるブータン商工会議所への支援を3か年計画で進め、現地指導や視察ミッション受入れなどを実施する。

持続可能な社会の実現については、SDGs推進ワークショップの実施や所報でのSDGs取り組み事例紹介などによりSDGsに取り組むメリットを伝え、ひょうご産業SDGs推進宣言への企業登録を進める。

(3)組織力を強化する ～持続可能な会議所運営を目指す～

会議所は地域で唯一の総合経済団体として多くの事業者からの信頼を得られる存在でなければならない。そのため、経営指導員等による会員事業所への巡回訪問を年1回以上実施することを目標に掲げ取り組んできたが、目標達成には至っていない。このため、改めて会員事業所との窓口になる経営指導員等に対し、巡回訪問の意義、重要性などを認識させ、会議所と会員事業所の間で顔の見える関係を築くこととする。加えて、会員の経営課題やニーズの的確に把握するとともに、幅広い会員サービスを積極的にアピールすることにより、新規会員の獲得、会員の定着、退会の防止、未収会費の縮減を図る。

こうしたことを組織一丸となり推進するため、組織力強化委員会の提案を基に効果的な取り組みを実施することにより、会員総数の純増、会員満足度の向上を目指す。また「新規会員交流会」を実施するとともに、SNS等を活用し会員との接点を増やすなど、新規会員へのフォローや退会防止に注力する。

またデジタル化・DX 推進特別委員会の提案を踏まえ、会議所自身のデジタル化・DX 推進を加速化させ、変化に対応できる会議所運営を目指す。6 年度は、商工会館貸会議室の予約等管理システム及びキャッシュレス決済を導入するなど、顧客起点(会員起点)の新しいサービスを創出したが、7 年度はペーパーレス化の推進に指標を設定し取り組む。

会議所の基礎的な活動である部会、委員会においては、各部会・委員会の連携を強化し、有益なセミナーや先進事例を有する施設見学会の実施、会議所役議員や会員間との意見交換や交流の場を提供するなど、会員にとってメリットが感じられる取り組みを行う。議員クラブについては役員・議員が交流を深める有効な機会であることから積極的な参加を促す。また青年部・女性会との一層の相互連携を図るため、青年部・女性会の会議や行事へ積極的に参加するとともに会議所事業への参画や協力を求める。

要望・提言活動の推進については、会議所活動の中でも重要な取り組みの一つであり、これまでもさまざまな機会を通して発信してきたが、これからもアンケート調査を実施し市内事業者の現状や要望を的確に把握したうえで、国・県・市に事業者の声を届け要望の実現に向けて取り組む。

このほか、組織財政基盤の一層の安定、強化を図るため、会議所共済の加入促進や商工会館貸会議室の利用料改定、簿記検定の実施手法の見直しなど自主財源の拡大に加え、会議所運営に係る諸経費削減の徹底や会員サービスの利便性向上に努める。

(4)特定課題への対応

西宮市市制施行 100 周年記念事業の実施については、会議所が地域で唯一の総合経済団体として、市制施行 100 周年に祝意を表するとともに、この機会を最大限に活かし、地域活性化や地域経済の振興につながるよう、西宮ならではの取り組みを青年部・女性会と連携し、市が実施主体となる市制施行 100 周年記念事業に協力・参画する。

プレ事業(6 年 9～12 月)として、西宮の逸品展など 5 つの事業を実施したほか、記念事業(7 年 1～12 月)として西宮酒ぐらルネサンス・春の酒と食の宴など 11 の事業を展開する。また、会員事業所に依頼した市制 100 周年の協賛金についてはしかるべき時期に市に納付し、これを財源とした記念事業に取り組むよう市と協議・調整を図ることとする。

2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)への参加については、これまで関西商工会議所連合会が主催する 2025 年大阪・関西万博 機運醸成 WG への参加や前売入場チケット販売により機運醸成を図ってきたが、議員クラブや各委員会・部会役員会が中心となり大阪・関西万博の会場視察を実施する。

また 5 年に設置した 2 つの特別委員会により、DX 及び SDGs 推進に積極的に取り組んできたが、3 か年の活動内容を総括したうえで今後の方向性について検討する。さらに市が国の交付金を活用して取り組むゼロカーボンシティ推進事業への協力を行う。

Ⅱ. 主要施策、事業の概要

注記 〈記念〉：西宮市 100 周年記念事業、〈新〉：新規事業、〈拡〉：拡充事業

1. 企業力を強化する ～頑張る企業の挑戦を後押しする～

(1) 中小・小規模事業者の支援

① 中小企業等の人手不足への対応と稼ぐ力の強化支援

- ・ 「パートナーシップ構築宣言」の普及推進
- ・ 持続的な賃上げ、人材確保や生産性向上のための支援
- ・ アンケート調査等による事業者の要望集約と、国・県・市等への要望・提言活動の実施
- ・ 国・県・市等の支援施策の情報発信や活用推進、各種補助金等の個別相談会の実施

② 経営改善普及事業による小規模事業者の活力強化

- ・ 巡回訪問等による経営指導や情報提供の徹底、オンライン経営相談の実施
- ・ 様々な経営課題を解決するための専門家派遣、個別相談会の実施
- ・ 北部地域における出張経営相談室の継続実施
- ・ マル経融資(小規模事業者経営改善資金)及び各種制度融資の利用促進

③ 〈新〉小規模事業者支援法に基づく経営発達支援計画(3 期目)の推進

- ・ 日商・伴走型小規模事業者支援推進事業を活用した地域経済や需要動向の調査、小規模事業者の事業計画策定や実施支援、新たな需要の開拓支援
- ・ 経営発達支援計画評価委員会による本計画の検証・評価

④ 〈新〉小規模事業者支援法に基づく事業継続力強化支援計画(2 期目)の推進

- ・ 日商・伴走型小規模事業者支援推進事業を活用した事業継続計画等(事業者 BCP)の策定支援

⑤ 中小・小規模事業者が抱える経営課題への対応

- ・ 日本政策金融公庫や地域金融機関との連携強化による金融支援
- ・ 小規模事業者持続化補助金等、国・県・市等各種補助金の活用支援
- ・ 〈新〉にしのみや販路拡大支援補助金事務局の運営
- ・ 経営革新等認定支援機関としての支援(事業再構築補助金等申請、経営改善計画策定、資金調達、税制優遇制度の利用)
- ・ 中小企業等経営強化法に基づく経営力向上計画や経営革新計画の策定支援
- ・ 健康経営優良法人認定の取得支援

⑥ 企業立地・定着の推進

⑦ 事業承継・引き継ぎ支援

- ・ 兵庫県事業承継・引継ぎ支援センター・西宮サテライト相談窓口の運営

(2)にしのみや起業家支援センター(みやスタ)を核とした起業・創業の支援

① にしのみや起業家支援センター(みやスタ)の運営

- ・ 起業フォーラム・起業塾等、起業家の「学び」を支援
- ・ 起業家交流会・ビジネスプランコンテスト等、起業家の「集い」を支援
- ・ コワーキングスペースや情報発信ルーム等、起業家の「交流」を支援

② にしのみや起業家支援センター(みやスタ)運営評価委員会による評価

(3)人手不足への対策、人材育成・組織開発の支援

① 「人材育成奨励金制度」を活用した中小企業等のリスクリング支援

② 人手不足への対策

- ・ 働き方改革・生産性向上のためのオーダーメイド型(講師派遣型)研修の実施
- ・ 合同就職説明会(西宮市・ハローワーク西宮との共催)など人材確保の支援

③ 西宮地区雇用対策協議会と連携した人材育成・組織開発の支援

- ・ 〈新〉兵商連・労働環境対策事業「生産性向上のためのオーダーメイド型研修実施事業」の実施
- ・ 〈新〉兵商連・労働環境対策事業「DX・デジタル人材育成事業」の実施
- ・ 新入社員研修、新入社員フォローアップ研修の実施
- ・ 人材育成研修(階層別、職種別、課題別)の計画的な実施
- ・ 〈新〉中小企業等の人事全般を塾形式で学ぶ「(仮)人事塾」の開講

④ 兵庫働き方改革推進支援センターとの連携

- ・ 定例労務個別相談会の実施

(4)販路開拓の支援

① 〈新〉兵商連・地域活力増進事業「SNS 活用による小規模事業者の販路開拓支援事業」の実施

② 〈新〉兵商連・地域経済再生支援事業「東京インターナショナル・ギフトショーへの共同出展(日商の共同展示商談会「feel NIPPON」への参加)」の実施(令和8年2月)

③ 阪神間4商工会議所連携事業(主幹：伊丹商工会議所)の実施(令和8年2月)

④ 事業者間のマッチング支援

- ・ ザ・ビジネスモールの活用推進

(5)デジタル化・DXの推進

① ITベンダーと連携した「デジタル化・IT体験会」の実施

② 〈拡〉各社クラウドサービスの会員割引制度の拡充

- ③ 塾形式で DX を学ぶ「DX 経営者塾」の実施
- ④ 所報を活用したデジタル化・DX に取り組む事業所の PR

2. 地域力を強化する ～地域の魅力を磨き上げ未来につなげる～

(1) 地域資源のブランド化

- ① 日本酒の振興
 - ・ 〈記念〉西宮酒ぐらルネサンスと食フェア特別開催・春の酒と食の宴の実施(4月5日・6日)
 - ・ 〈記念〉第29回西宮酒ぐらルネサンスと食フェアの実施(10月4日・5日)
 - ・ 西宮日本酒振興会連絡会との連携強化(西宮日本酒学校修了式の実施等)
- ② 西宮和・洋菓子ブランド発信実行委員会による和・洋菓子イベント等の支援
 - ・ 〈記念〉西宮市制百年奉祝市(西宮神社)での和・洋菓子販売(4月1日)
 - ・ 〈記念〉西宮洋菓子園遊会の実施
 - ・ 〈新〉西宮和菓子ブランド発信実行委員会事務局の運営
- ③ 西宮観光協会との連携強化

(2) 商店街・まちなか活性化の推進

- ① 西宮市商店市場連盟による各商店街等への支援
- ② 兵庫県・西宮市の商店街新規出店・開業等支援事業補助金の活用支援

(3) にしのみや地域経済交流センターを核とした地域活動の支援

- ① にしのみや地域経済交流センター活用計画に基づく事業実施
 - ・ 〈記念〉にしのみや地域活動支援事業(補助制度)による地域団体等の支援
- ② 西宮商工会館ピロティを活用したキッチンカー等による販路開拓支援

(4) 産官学連携の推進

- ① 「人材育成奨励金制度」を活用した中小企業等のリスクリング支援【再掲】
- ② 〈新〉甲南大学との連携によるブータン商工会議所の支援(7～9年度)

(5) 持続可能な社会の実現

- ① ひょうご産業 SDGs 推進宣言事業・認証事業の推進
 - ・ 6・7年度の2年間で会員総数の10%の企業登録に取り組む
- ② 所報を活用したSDGs(持続可能な開発目標)に取り組む事業所のPR

3. 組織力を強化する ～持続可能な会議所運営を目指す～

(1)新規会員の獲得と定着

- ① 組織一丸となった会員増強の推進
 - ・ 新規会員の獲得と会員の定着、退会防止に係る方策の検討
 - ・ 年間 30 件の会員総数増加を目指す
- ② 全会員への巡回訪問による会員満足度の向上
 - ・ デジタルを活用した接触機会の多様化
- ③ 新入会員交流会の実施(秋)

(2)組織財政基盤の強化

- ① 議員選挙・選任の実施
- ② 正副会頭会議、議員総会、常議員会、議員懇談会、議員クラブ活動等の実施
- ③ 10 部会活動の活性化
- ④ 委員会活動(常設 4 委員会、特別 2 委員会)の活性化
- ⑤ 青年部活動の支援
- ⑥ 女性会活動の支援
- ⑦ 賀詞交歓会の実施
- ⑧ 〈拡〉会議所共済制度の推進による会員事業所の福利厚生の充実、財源の確保
 - ・ 会議所共済(くすのき共済及び特定退職金共済)、県共済、自動車共済、会議所団体保険(ビジネス総合保険等)
 - ・ アクサ生命との連携強化、BWC キャンペーンの計画的な推進(春・秋)
 - ・ 中小機構共済(小規模企業共済及び経営セーフティ共済)
- ⑨ 商工会議所検定(日本商工会議所、東京商工会議所)の普及・推進、ネット検定への対応
- ⑩ 「市民に拓かれた商工会議所」の推進
 - ・ 〈記念〉第 33 回くすの木コンサートの実施(8 月 31 日)
 - ・ 社会貢献活動、国際交流活動の推進
- ⑪ 商工会館の維持管理
 - ・ 〈新〉貸会議室利用料金の改定
 - ・ 商工会館貸会議室の予約等管理システムの本格稼働
 - ・ 会議所パソコン教室の運営
- ⑫ 会員サービス事業の推進
 - ・ 労働保険事務の代行
 - ・ 健康診断、PET/CT 検診の受診料割引サービス、ひょうご DC プラン、電子証明割引サービス

⑬ 変化に対応できる会議所職員の育成

(3) 会議所のデジタル化・DX 推進と情報発信力の強化

① 会議所のデジタル化・DX 推進

- ・ 商工会館貸会議室の予約等管理システムの本格稼働
- ・ 〈新〉ペーパーレス化の推進

② 会議所活動の情報発信力の強化

- ・ 所報「れぼると」の内容充実
- ・ 会議所ホームページ、公式 LINE 等の各種 SNS を活用した情報発信の強化

(4) 要望・提言活動の推進

① 各部会・委員会活動、巡回等を通じての会員意見の集約

② 国・兵庫県・西宮市等への政策要望・意見の具申

③ 兵庫県・西宮市幹部と正副会頭との懇談会の実施

④ 日本商工会議所・関西商工会議所連合会・兵庫県商工会議所連合会等関係機関との連携

(5) 関連団体事務の受託

① 西宮貿易協会

② 西宮地区雇用対策協議会

③ 西宮珠算振興会

- ・ 〈記念〉第 66 回オール西宮珠算競技大会(11 月 9 日)

④ 西宮興親会

⑤ 西宮市商店市場連盟

⑥ 西宮市商業近代化協会

⑦ 一般財団法人西宮更生保護協会

⑧ 日本容器包装リサイクル協会

4. 特定課題への対応

(1) 〈記念〉西宮市市制施行 100 周年記念事業の実施(7 年 1 月～12 月)

(2) 2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)への参加

(3) DX・デジタル化推進特別委員会の活動強化

(4) SDGs 推進特別委員会の活動強化

(5) 西宮市ゼロカーボンシティ推進事業への協力

以上